

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-288557
(43)Date of publication of application : 04.11.1997

(51)Int.Cl.

G06F 3/14
G06F 3/14

(21)Application number : 08-098312

(71)Applicant : CASIO COMPUT CO LTD

(22)Date of filing : 19.04.1996

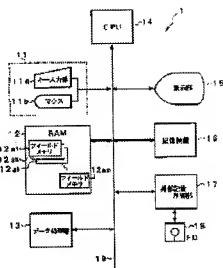
(72)Inventor : HASHIMOTO YOKO

(54) FIELD DATA DISPLAY METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To control the presence or absence of the display of drop down keys for respective field items in a drop down menu in accordance with the number of data which are set and registered by displaying data which is set and registered in the corresponding field in accordance with an indication operation for an indicated area which is identified and displayed.

SOLUTION: Whether plural pieces of data are set and registered are discriminated for respective field memories 12a1-12an which are registered in RAM 12. The drop down key is displayed only on the respective field items of the drop down menu corresponding to the respective field memories 12ax to which plural pieces of data are set and registered based on the discrimination result. When a prescribed indication operation is executed by a mouse 11b for the field item where the drop down key is displayed, plural pieces of data which are set and registered in the corresponding field memory 12ax are displayed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

特開平9-288557

(43) 公開日 平成9年(1997)11月4日

(51) Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 3/14	3 4 0		G 0 6 F 3/14	3 4 0 B
	3 1 0			3 1 0 B

審査請求 未請求 請求項の数 3 ○ L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平9-98312

(22) 出願日 平成8年(1996)4月19日

(71) 出願人 000001443

カシオ計算機株式会社
東京都新宿区西新宿2丁目6番1号

(72) 発明者 橋本 陽子

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ
計算機株式会社羽村技術センター内

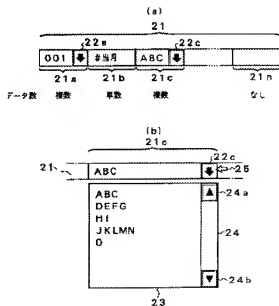
(74) 代理人 弁理士 荒船 博司 (外1名)

(54) 【発明の名称】 フィールドデータ表示方法

(57) 【要約】

【課題】 本発明は、各フィールドに設定登録されるデータ数に応じてドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21a～21nにおけるドロップダウンボタン22a～22nの表示有無を制御するとともに、フィールドデータ表示処理に関する処理画面上で新たなデータの追加登録処理を行うことが可能なフィールドデータ表示方法を提供することである。

【解決手段】 CPU14では、各フィールドメモリ12a1～12an毎に、複数のデータが格納されているか否かを判別し、複数のデータが格納されている場合に、ドロップダウンメニュー21の対応するフィールド項目21xにおいて、ドロップダウンボタン22xを表示する。また、新たなデータを追加登録する旨が指示された場合は、リストボックス23内に一覧表示されたデータの次行部分を反転表示させて文字入力環境を整備し、入力されたデータを新たなデータとして対応するフィールドメモリ12axに格納する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】複数のデータを設定登録可能なフィールド毎に所定の指示領域を設定して表示し、該各指示領域に対する所定の指示操作に応じて、対応するフィールドに設定登録されたデータを表示するフィールドデータ表示方法において、
前記フィールド毎に複数のデータが設定登録されているか否かを判別し、
この判別結果に基づいて、複数のデータが設定登録されているフィールドの前記指示領域を識別表示し、
この識別表示した指示領域に対する前記指示操作に応じて、対応するフィールドに設定登録された複数のデータを表示することを特徴とするフィールドデータ表示方法。

【請求項2】前記フィールドに設定登録されたデータが表示されるとともに、前記フィールドに新たに設定登録するデータが入力されるデータ編集領域を設け、
前記識別表示は、該当するフィールドに対する前記データ編集領域の設定及び表示を指示する所定の記号表示であり、
この所定の記号表示がなされた指示領域に対する前記指示操作によって、前記データ編集領域を設定して表示し、対応するフィールドに設定登録された複数のデータを当該データ編集領域内に表示するとともに、このデータ編集領域内に新たなデータの入力を許可し、入力されたデータを前記フィールドに対する新たなデータとして設定登録することを特徴とする請求項1記載のフィールドデータ表示方法。

【請求項3】前記所定の記号表示がなされていない指示領域が指定された場合は、この指示領域に前記所定の記号表示を行い、該指示領域に対して前記指示操作が行なわれると、前記データ編集領域を設定して表示し、対応するフィールドにデータが設定登録されていれば、該データを当該データ編集領域内に表示するとともに、このデータ編集領域内に新たなデータの入力を許可し、入力されたデータを前記フィールドに対する新たなデータとして設定登録することを特徴とする請求項2記載のフィールドデータ表示方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、フィールドデータ表示方法に係り、詳細には、GUIに基づく操作環境下において、所望のフィールドに設定登録されたデータを表示させる際のフィールドデータ表示方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、例えば、ワードプロセッサ (Word Processor) やパーソナルコンピュータ (Personal Computer)、あるいはPDA (Personal Digital Assistant) 等のデータ処理装置においては、グラフィックを使用して視覚的、直感的にわかりやすい操作環境を提供す

るGUI (Graphical User Interface) を標準搭載するものが増えてきている。

【0003】このようなGUIにより提供される操作環境下では、複数のデータが設定登録可能な各フィールドの中から、所望のフィールドに設定登録されたデータを表示する際に、まず、図6(a)に示すように表示画面上にドロップダウンメニュー31を表示する。

【0004】同図に示すように、このドロップダウンメニュー31は、ドロップダウンボタン32a~32nを備えた各フィールド項目31a~31nによって構成されており、ポインティングデバイス (Pointing Device) によって任意のドロップダウンボタン32a~32nを指定することで任意のフィールド項目31a~31nを選択することができる。

【0005】そして、図6(b)に示すように、例えば、ドロップダウンメニュー31の各フィールド項目31a~31nの中から、ポインティングデバイスによってフィールド項目31cのドロップダウンボタン32cが指定されると、このフィールド項目31cの下方にリストボックス33を表示し、該リストボックス33内に、前記指定されたフィールド項目31cに対応するフィールドに設定登録されているデータを一覧表示する。

【0006】なお、上記ドロップダウンメニュー31の各フィールド項目31a~31n (図6(a)参照) には、各フィールドの先頭に設定登録されているデータが表示される (図6(b)参照)。

【0007】また、図6(b)において、リストボックス33の右端に設けられたスクロールバー34は、リストボックス33内に表示しきれないデータがある場合に、現在表示されているデータを上方、または下方にスクロールさせて未表示のデータをリストボックス33内に表示させるためのものであり、ポインティングデバイスによりスクロールボタン34aが指定されると、表示されているデータが上方に、また、スクロールボタン34bが指定されると、表示されているデータが下方にスクロールされる。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来のフィールドデータ表示方法においては、以下に述べるような問題点があった。

【0009】すなわち、図6(a)に示すように、ドロップダウンメニュー31の各フィールド項目31a~31nには、対応する各フィールドの先頭に設定登録されているデータしか表示されない。したがって、図6

(a)に示す状態においてユーザーは、各フィールドに設定登録されているデータ数が複数のなか、それとも単数なのかを判らず、前記内容を確かめるにはポインティングデバイスで各フィールド項目31a~31nのドロップダウンボタン32a~32nを順次指定して各リストボックス33を表示し、データ数をチェックしなければ

ばならず、手間と時間を要し使い勝手が悪かった。

【0010】また、リストボックス33に一覧表示されるデータを確認している際、新たなデータの追加登録の必要性に気が付き、該データの追加登録作業を行おうとした場合に、データ登録処理に関するウィンドウ画面を新たに開き、このウィンドウ画面上で該データの追加登録作業を行わなければならない、手間と時間を要し使い勝手が悪かった。

【0011】本発明の課題は、各フィールドに設定登録されるデータ数に応じてドロップダウンメニューの各フィールド項目におけるドロップダウンボタンの表示有無を制御するとともに、フィールドデータ表示処理に関する処理画面上で新たなデータの追加登録処理を行うことが可能なフィールドデータ表示方法を提供することである。

【0012】

【課題を解決するための手段】請求項1記載の発明は、複数のデータを設定登録可能なフィールド毎に所定の指示領域を設定して表示し、該各指示領域に対する所定の指示操作に応じて、対応するフィールドに設定登録されたデータを表示するフィールドデータ表示方法において、前記フィールド毎に複数のデータが設定登録されているか否かを判別し、この判別結果に基づいて、複数のデータが設定登録されているフィールドの前記指示領域を識別表示し、この識別表示した指示領域に対する前記指示操作に応じて、対応するフィールドに設定登録された複数のデータを表示することを特徴としている。

【0013】よって、請求項1記載の発明によれば、フィールド毎に複数のデータが設定登録されているか否かを判別し、この判別結果に基づいて、複数のデータが設定登録されているフィールドの指示領域を識別表示し、この識別表示した指示領域に対する所定の指示操作に応じて、対応するフィールドに設定登録された複数のデータを表示する構成としている。

【0014】したがって、各フィールドに設定登録されているデータ数が複数名のか、それとも単数名のかを識別表示により一目でわかるので、従来のように各フィールドに設定登録されているデータ数をチェックする必要がなく、そのための手間と時間を省くことが可能となり、使い勝手を向上することができる。

【0015】この場合、請求項2に記載するように、請求項1記載の発明において、前記フィールドに設定登録されたデータが表示されるとともに、前記フィールドに新たに設定登録するデータが入力されるデータ編集領域を設け、前記識別表示は、該当するフィールドに対する前記データ編集領域の設定及び表示を指示する所定の記号表示であり、この所定の記号表示がなされた指示領域に対する前記指示操作によって、前記データ編集領域を設定して表示し、対応するフィールドに設定登録された複数のデータを当該データ編集領域内に表示するとともに

に、このデータ編集領域内に新たなデータの入力を許可し、入力されたデータを前記フィールドに対する新たなデータとして設定登録することが有効である。

【0016】よって、請求項2記載の発明によれば、フィールドに設定登録されたデータが表示されるとともに、前記フィールドに新たに設定登録するデータが入力されるデータ編集領域を設け、また、識別表示は、該当するフィールドに対する前記データ編集領域の設定及び表示を指示する所定の記号表示であり、この所定の記号表示がなされた指示領域に対する所定の指示操作によって、前記データ編集領域を設定して表示し、対応するフィールドに設定登録された複数のデータを当該データ編集領域内に表示するとともに、このデータ編集領域内に新たなデータの入力を許可し、入力されたデータを前記フィールドに対する新たなデータとして設定登録する構成としている。

【0017】また、請求項3に記載するように、請求項2記載の発明において、前記所定の記号表示がなされていない指示領域が指定された場合は、この指示領域に前記所定の記号表示を行い、該指示領域に対して前記指示操作が行なわれると、前記データ編集領域を設定して表示し、対応するフィールドにデータが設定登録されていれば、該データを当該データ編集領域内に表示するとともに、このデータ編集領域内に新たなデータの入力を許可し、入力されたデータを前記フィールドに対する新たなデータとして設定登録することが有効である。

【0018】よって、請求項3記載の発明によれば、所定の記号表示がなされていない指示領域が指定された場合は、この指示領域に前記所定の記号表示を行い、該指示領域に対して所定の指示操作が行なわれると、前記データ編集領域を設定して表示し、対応するフィールドにデータが設定登録されていれば、該データを当該データ編集領域内に表示するとともに、このデータ編集領域内に新たなデータの入力を許可し、入力されたデータを前記フィールドに対する新たなデータとして設定登録する構成としている。

【0019】したがって、フィールドデータ表示処理に関する処理画面上において、新たなデータの入力処理及び登録処理を行うことができるので、従来のようにデータ登録処理に関する処理画面に移行する必要がなく、そのための手間と時間を省くことが可能となり、使い勝手を向上することができる。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、図を参照して本発明に好適な実施の形態を詳細に説明する。図1～図5は、本発明のフィールドデータ表示方法を適用したコンピュータシステムについて示す図である。まず、構成を説明する。

【0021】図1は、本発明を適用したコンピュータシステム1のブロック構成図であり、同図においてコンピュータシステム1は、入力部11、RAM12、データ

処理部13、CPU14、表示部15、記憶装置16及び外部記憶制御部17により構成されており、各部はバス19によって接続されている。

【0022】入力部11は、キー入力部11a及びマウス11bにより構成されており、キー入力部11aは、ファンクションキー、数値キー、文字キー及び他キーを有し、ユーザーによる各キー入力操作に応じた各種操作信号をCPU14に出力する。また、マウス11bは、表示部15に表示されるアイコンや操作メニューの選択等を行なうポインティングデバイスであり、相対位置座標データ及びクリック信号をCPU14に出力する。

【0023】RAM(Random Access Memory)12は、CPU14により各種制御処理が実行される際に、処理される各種データを一時的に格納するメモリエリアを形成するとともに、フィールドメモリ12a1~12anを有する。

【0024】このフィールドメモリ12a1~12anは、後述するフィールドデータ表示処理(図2及び図3参照)において、リストボックス23内(図4(b)参照)に一覧表示させるデータを各フィールド毎に格納するメモリエリアを形成し、CPU14からの指示に基づいて必要な個数だけ生成される。例えば、CPU14から3個のフィールドメモリを生成する旨が指示された場合は、RAM12内に3個のフィールドメモリ12a1、12a2、12a3が生成される。

【0025】データ処理部13は、RAM12の各フィールドメモリ12a1~12anからCPU14を介して入力されたデータを、予めユーザーによって指定されたデータ処理内容に基づいて処理する。

【0026】CPU(Central Processing Unit)14は、記憶装置16、フロッピーディスク18等に格納される各種制御プログラムやアプリケーションプログラムなどに従ってコンピュータシステム1の各部を制御する中央演算装置である。具体的には、CPU14は、フィールドデータを表示する旨が指示された場合に、後述するフィールドデータ表示処理(図2及び図3参照)を実行する。

【0027】表示部15は、CRT(Cathode Ray Tube)や液晶ディスプレイ等により構成されており、CPU14から入力される表示データを表示する。記憶装置16は、各種制御プログラムやアプリケーションプログラム、或いは各フィールド毎に設定登録されたデータ等が記憶される記憶媒体を有しており、この記憶媒体は磁気的、光学的記録媒体、若しくは半導体メモリで構成されている。

【0028】なお、上記記憶媒体は記憶装置16に固定的に設けられたものであってもよいし、或いは記憶装置16に着脱自在に装着するものであってもよい。

【0029】また、上記記憶媒体に記憶されるプログラム、データ等は、通信回路等を介して接続された他の機

器から受信して記憶する構成にしてもよく、更に、通信回路等を介して接続された他の機器側に上記記憶媒体を備えた記憶装置16を設け、この記憶媒体に記憶されているプログラム、データ等を通信回路を介して使用する構成としてもよい。

【0030】外部記憶制御部17は、CPU14により制御され、記憶媒体として図中に示すフロッピーディスク18(以下、FD:Floppy Diskと略す)を駆動制御する。この外部記憶制御部17は、CPU14から書き込み指示が入力された場合は、指定されたデータをFD18の指定された記憶領域に書き込み、また、読み出し指示が入力された場合は、指定されたデータをFD18から読み出して、RAM12や記憶装置16内の指定された記憶領域に転送する。以上が、本実施の形態におけるコンピュータシステム1の構成である。

【0031】次に、動作を説明する。本実施の形態のCPU14において実行されるフィールドデータ表示処理について、図2及び図3に示すフローチャートと、図4及び図5に示すドロップダウンメニュー及びリストボックスの表示例とに基づいて説明する。CPU14では、フィールドデータを表示する旨が指示された場合に、記憶装置16に格納される当該フィールドデータを記憶装置16に関するプログラムを読み出して、その処理を開始する。

【0032】まず、CPU14は、表示画面上にドロップダウンメニュー21の表示棒を表示する(ステップS1)。次いで、CPU14は、表示しなければならないデータが設定登録された総フィールド数と記憶装置16においてチェックし、この総フィールド数分のフィールドメモリ12a1~12anをRAM12内に生成する(ステップS2)。

【0033】そして、CPU14は、各フィールドに設定登録されているデータを記憶装置16から読み出して、該データを各フィールド毎にRAM12に生成したフィールドメモリ12a1~12anに格納する(ステップS3)。

【0034】次いで、CPU14は、まず、フィールドメモリ12a1にデータが格納されているかを判別し(ステップS4)、データが格納されていない場合は、ステップS8に移行する。また、CPU14は、フィールドメモリ12a1にデータが格納されていると判別した場合は、該フィールドメモリ12a1の先頭に格納されているデータを読み出して表示部15に出力し、該データをドロップダウンメニュー21のフィールド項目31aに表示する(ステップS5)。

【0035】続いて、CPU14は、前記フィールドメモリ12a1に格納されているデータが複数であるかを判別し(ステップS6)、データが複数でない場合は、ステップS8に移行する。また、CPU14は、前記フィールドメモリ12a1に格納されているデータが複

数であると判別した場合は、ドロップダウンメニュー21のフィールド項目31aの右端に、ドロップダウンボタン22aを表示(図4(a)参照)する(ステップS7)。

【0036】そして、CPU14は、次のフィールドメモリ12a2があるか否かを判別し(ステップS8)、次のフィールドメモリ12a2がある場合は、上記ステップS4に戻る。

【0037】CPU14では、上記ステップS4～ステップS8までの一連の処理を繰り返して行うことにより、RAM12の各フィールドメモリ12a1～12anに格納されているデータに応じて、図4(a)に示すようにドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21a～21nにおけるドロップダウンボタン22a～22nの表示有無を制御するとともに、前記各フィールドメモリ12a1～12anの先頭に格納されているデータを、対応する前記各フィールド項目21a～21nに表示する。

【0038】また、CPU14は、上記ステップS8において、次のフィールドメモリ12a2～12anがないと判別された場合は、次いで、マウス11bによりドロップダウンメニュー21が指定されているか否か(すなわち、マウスカーソル25の先端位置がドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21a～21nのいずれかの領域内に位置しているか否か)を判別し(ステップS9)、ドロップダウンメニュー21が指定されていない場合は、引き続いてマウス11bによりドロップダウンメニュー21が指定されたか否かの監視を行う。

【0039】また、CPU14は、上記ステップS9において、マウス11bによりドロップダウンメニュー21が指定されていると判別した場合は、ドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21a～21nについて、どのフィールド項目21xが指定されているのかをチェックした後(ステップS10)、この指定フィールド項目21xにドロップダウンボタン22xが表示されているか否かを判別する(ステップS11)。そして、CPU14は、ドロップダウンボタン22xが表示されていると判別した場合は、ステップS13(図3参照)に移行する。

【0040】また、CPU14は、上記ステップS11において、指定フィールド項目21xにドロップダウンボタン22xが表示されていないと判別した場合は、この指定フィールド項目21xの右端にドロップダウンボタン22xを表示する(ステップS12)。

【0041】この後、CPU14は、マウス11bにより所定の指示操作が行われたか否か(すなわち、マウスカーソル25の先端位置がドロップダウンボタン22x上に位置し、かつ、マウス11bがダブルクリックされたか否か)を判別し(ステップS13)、所定の指示操作が行われていない場合は、次いで、前記指定フィ

ールド項目21xが変更されたか否かを判別し(ステップS14)、指定フィールド項目21xが変更されていない場合は、上記ステップS13に戻る。

【0042】また、CPU14は、上記ステップS14において、指定フィールド項目21xが変更されたと判別した場合は、次いで、元の指定フィールド項目21xに対応するフィールドメモリ12axに、データが複数格納されているか否かを判別し(ステップS15)、データが複数格納されている場合は、上記ステップS10(図2参照)に戻る。また、CPU14は、データが複数格納されていないと判別した場合は、この指定フィールド項目21xのドロップダウンボタン22xを消去した後(ステップS16)、上記ステップS10(図2参照)に戻る。

【0043】一方、CPU14は、上記ステップS13において、マウス11bにより所定の指示操作が行われたと判別した場合は、所定の指示操作が行われたフィールド項目21xの下方にリストボックス23及びスクロールバー24を表示する(ステップS17)。そして、CPU14は、対応するフィールドメモリ12axに格納されるデータを表示部15に出力し、図4(b)に示すように前記表示したリストボックス23内に該データを一覧表示する(ステップS18)。

【0044】次いで、CPU14は、新たなデータを追加登録する旨が指示されたか否かを判別し(ステップS19)、追加登録する旨が指示されていない場合は、上記ステップS13に戻る。また、CPU14は、新たなデータを追加登録する旨が指示されたと判別した場合は、図5に示すようにリストボックス23内に一覧表示されたデータの次行部分を反転表示させるとともに、その先頭位置に文字入力カーソル26を点滅表示させて、文字入力環境を整備する(ステップS20)。

【0045】そして、CPU14は、新たなデータが入力されたか否かを判別し(ステップS21)、新たなデータが入力されていない場合は、引き続いて新たなデータが入力されたか否かの監視を行う。また、CPU14は、新たなデータが入力されたと判別した場合は、この新たに入力されたデータを、前記所定の指示操作が行われたフィールド項目21xに対応するフィールドメモリ12axに、新たなデータとして格納した後(ステップS22)、上記ステップS13に戻る。

【0046】なお、CPU14は、終了指示がなされた場合に、当該フィールドデータ表示処理を終了する。また、当該フィールドデータ表示処理においては、さらに、リストボックス23内に一覧表示されたデータの中から、マウス11bによって任意のデータが選択指定されると、このデータに対応するフィールドメモリ12axから読み出してデータ処理部13に出力し、予めユーザによって指定されたデータ処理内容に基づいて処理させることが可能である。

【0047】以上が、本実施の形態のCPU14において実行されるフィールドデータ表示処理の動作手順である。

【0048】以上のようなことから、本実施の形態におけるコンピュータシステム1では、RAM12内に生成された各フィールドメモリ12a1~12an毎に、複数のデータが設定登録されているか否かを判別し、この判別結果に基づいて、複数のデータが設定登録されている各フィールドメモリ12axに対応するドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21xのみに、ドロップダウンボタン22xを表示する。そして、このドロップダウンボタン22xの表示されたフィールド項目21xに対してマウス11bにより所定の指示操作が行なわれると、対応するフィールドメモリ12axに設定登録された複数のデータを表示する構成としている。

【0049】したがって、各フィールドに設定登録されているデータ数が複数のか、それとも単数のかがドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21a~21nにおけるドロップダウンボタン22a~22nの表示有無によって一目でわかるので、従来のように各フィールドに設定登録されているデータ数をチェックする必要がなく、そのための手間と時間を省くことができる。

【0050】また、本実施の形態におけるコンピュータシステム1では、RAM12の各フィールドメモリ12a1~12anに設定登録されたデータが表示されるとともに、前記各フィールドメモリ12a1~12anに新たに設定登録するデータが入力されるリストボックス23を設け、このリストボックス23の設定及び表示を指示するドロップダウンボタン22xが予め表示されているドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21xに対してマウス11bにより所定の指示操作が行なわれると、前記リストボックス23を設定して表示し、対応するフィールドメモリ12axに設定登録された複数のデータを当該リストボックス23内に表示するとともに、このリストボックス23内に新たなデータの入力も許可し、入力されたデータを前記フィールドメモリ12axに新たなデータとして設定登録する構成としている。

【0051】また、本実施の形態におけるコンピュータシステム1では、ドロップダウンボタン22xが表示されていないドロップダウンメニュー21の各フィールド項目21xがマウス11bによって指定された場合、このフィールド項目21xにドロップダウンボタン22xを表示し、該フィールド項目21xに対してマウス11bにより所定の指示操作が行なわれると、リストボックス23を設定して表示し、対応するフィールドメモリ12axにデータが設定登録されれば、該データを当該リストボックス23内に表示するとともに、このリストボックス23内に新たなデータの入力も許可し、入力されたデータを前記フィールドメモリ12axに新たなデータ

タとして設定登録する構成としている。

【0052】したがって、リストボックス23（フィールドデータ表示処理に関する処理画面）上において、新たなデータの入力処理及び登録処理を行うことができるので、従来のようにデータ登録処理に関する処理画面に移行する必要がなく、そのための手間と時間を省くことができる。

【0053】以上、本発明を実施の形態に基づいて具体的に説明したが、本発明は上記実施の形態に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲で適宜に変更可能であることは勿論である。

【0054】例えば、上記実施の形態においては、複数のデータが設定登録されているフィールドの指示領域と、そうでないフィールドの指示領域との識別表示の一例として、ドロップダウンボタン22xの表示有無を挙げたが、識別表示の方法は前記内容に限定されるものではなく、例えば、ドロップダウンボタン22xの表示色の違い、ドロップダウンボタン22xの大きさや表示位置の違いなどであってもよい。

【0055】さらに、上記識別表示は、前述したドロップダウンボタン22xの表示方法の違いに限定されるものではなく、ドロップダウンメニュー21上における各フィールド項目21xの表示方法の違いであってもよい。これは、例えば、複数のデータが設定登録されているフィールドメモリ12axに対応するフィールド項目21xを反転表示させるなどの方法である。

【0056】また、上記実施の形態においては、ポインティングデバイスとしてマウスを用いたが、これはマウスに限定されるものではなく、例えば、ペン入力装置やトラックボール、あるいはタッチパッド等であってもよいことは勿論である。

【0057】

【発明の効果】請求項1記載の発明によれば、各フィールドに設定登録されているデータ数が複数のか、それとも単数のかが識別表示により一目でわかるので、従来のように各フィールドに設定登録されているデータ数をチェックする必要がなく、そのための手間と時間を省くことが可能となり、使い勝手を向上させることができる。

【0058】また、請求項2及び請求項3記載の発明によれば、フィールドデータ表示処理に関する処理画面上において、新たなデータの入力処理及び登録処理を行うことができるので、従来のようにデータ登録処理に関する処理画面に移行する必要がなく、そのための手間と時間を省くことが可能となり、使い勝手を向上させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を適用したコンピュータシステムのプロック構成図。

【図2】図1のCPUにおいて実行されるフィールドデ

11

ータ表示処理のフローチャート（その1）。

【図3】図1のCPUにおいて実行されるフィールドデータ表示処理のフローチャート（その2）。

【図4】図2に示すフィールドデータ表示処理によって表示されるドロップダウンメニュー及びリストボックスの表示例（その1）。

【図5】図2に示すフィールドデータ表示処理によって表示されるドロップダウンメニュー及びリストボックスの表示例（その2）。

【図6】従来のドロップダウンメニュー及びリストボックスの表示例。

【符号の説明】

1 コンピュータシステム

11 入力部

11a キー入力部

11b マウス

12 RAM

12

12a1~12an, 12ax フィールドメモリ

13 データ処理部

14 CPU

15 表示部

16 記憶装置

17 外部記憶制御部

18 フロッピーディスク

19 バス

21 ドロップダウンメニュー

21a~21n, 21x フィールド項目

22a~22n, 22x ドロップダウンボタン

23 リストボックス

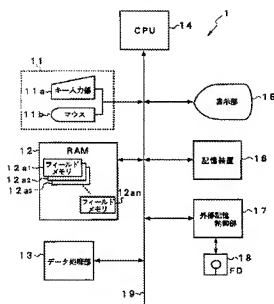
24 スクロールバー

24a, 24b スクロールボタン

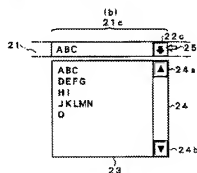
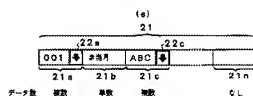
25 マウスカーソル

26 文字入力カーソル

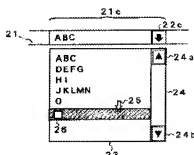
【図1】



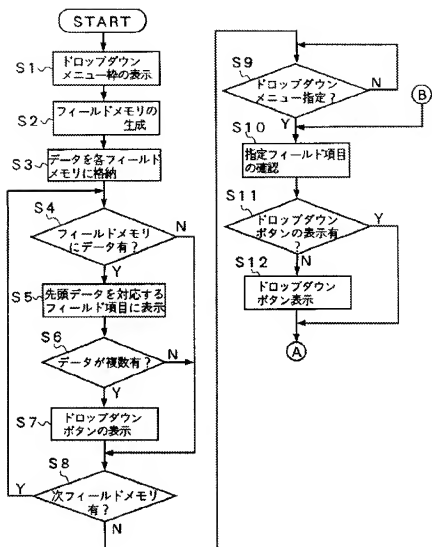
【図4】



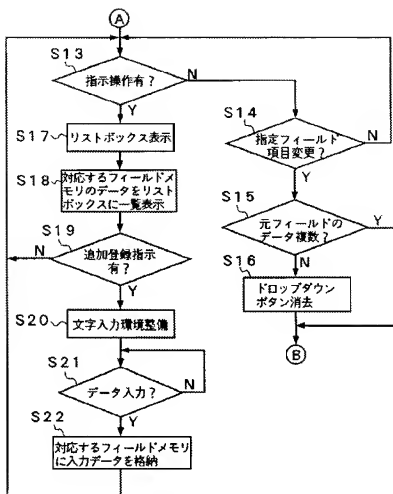
【図5】



【図2】



【図3】



【図6】

